

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス アミティエ福祉			
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～	2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		～	2025年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名(専従職員)	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月8日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域に係る様々な療育・支援に加え「学習」を中心としたプログラム展開が、保護者様からの要望・ニーズと合致している。	可能な限り「マンツーマン指導」を心掛けているが、学校の終業時刻の関係で「1対2～3名」になってしまう。そんな時は学習担当者を複数名配置し「フェイスtoフェイス」の対応を行っている	学習時間確保の為、「学習」「集団活動」「自由時間」の配分と実施方法等に関し、検討チームを発足させ改善していく。
2	「安心・安全・信頼」して利用できる児童発達支援・放課後等デイサービスである事。	従事者の平均年齢が60歳超とやや高齢化している施設ではあるが、立ち上げ当初からメンバーはほぼ変わっておらず、長期間にわたり利用者の成長に寄添うことが出来ている。	計画的に従事者の新陳代謝を図り、更なる「安心・安全・信頼」を目指す。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備(建物)・備品(絨毯や机等)の老朽化が進行している。	立ち上げから5年が経過し時系列的な要因や使用頻度の頻繁さから各所に老朽化(経年劣化)が生じている。	改善希望の優先順位を検討し「改善経過」を立案する。更に予算化し早期実施する。
2	上記「強み-2」で記述した内容の反動として利用者側・従事者側の双方に「マンネリ感」の存在が否めない事。	変わらないメンバー(利用者⇔従事者)との長期間にわたる「人間関係(コミュニティー)」が形成され、「なあーなあーの関係」が充満し「けじめ」が希薄になっている。	従事者による「自覚」の再認識と「教育」の徹底を行なうと共に、療育内容やプログラムの内容を再検討する。
3			